

熊本地震 門信徒13人死亡

熊本、大分など310カ寺被害

4月14日夜に発生し、今も熊本県を中心に地震が相次ぎ被害の拡大している「平成28年熊本地震」。宗門内の寺院、門信徒も大きな被害を受け、熊本教区の門信徒13人が亡くなった。建物の被害は、熊本、大分、佐賀、長崎、福岡、宮崎各教区の305カ寺、直属寺院5カ寺の310カ寺に上り、熊本教区では6カ寺の本堂が全壊した（4月21日現在、2面に一覽）。甚大な被害を受けた門信徒、寺族は現在も避難生活を強いられている。宗門は地震発生直後から救護物資を届けるなどの支援活動を始め、20、21日に霍野廣紹総務が熊本、大分両教区の被災寺院を見舞った（次号詳報）。また、19日には本山に熊本地震緊急災害対策本部、熊本教区に現地緊急災害対策本部を設置、支援を強めている。

本堂全壊 益城町 6カ寺



本堂が全壊した熊本県益城町の専寿寺

4月14日以降、九州全域に及ぶ地震の被害状況は、九州各教区から徐々に本山・社会部（災害対策担当）に報告されている。それによると21日現在、熊本県益城町にある3カ寺など6カ寺の本堂が全壊した熊本教区で2



別院、人吉別院の5カ寺が被害を受けた。門信徒の詳しい被害数は明らかになっていない。現在、

多くの門信徒、寺族が避難生活を送っている。

宗派は、14日の地震発生直後から、社会部を中心に被害状況の情報収集を行い、15日には第1次復旧支援隊を熊本教区に派遣した。森田順昭社会部長（災害対策担当）ら2人が熊本市の熊本別院を訪ね、農利信教務所長

に見舞金50万円を届け、また、教区内の寺院5カ寺を見舞った。しかし、16日未明に発生した地震で、被害は九州各地に拡大。宗派は同日、さらに第2次隊を派遣して熊本、大分両教区を見舞った。大分県別府市の別府別院では錦織信貴・大分教区教務所長に見舞金50万円を手渡し、同教区内の被災寺院など12カ寺を見舞った。

第3次隊は17日にトラックで非常食や飲料水、食器セット、紙コップ、毛布などを輸送。以後、順次支援隊を派遣して救護物資の搬送と被害状況の把握に努めている。21日現在、派遣隊は第8次まで派遣している。亡くなられた13人

■熊本教区 坂本龍也さん（託麻組廣福寺門徒）
▽村上ハナエさん（益北組浄信寺門徒）
▽村上正孝さん（同）
▽富田知子さん（同組専寿寺門徒）
▽村田恵祐さん（同）
▽西村正敏さん（同組壽徳寺門徒）
▽西村美知子さん（同）
▽内村宗春さん（同）
▽坂本ミツコさん（同）
▽坂本征男さん（同）
▽片島信夫さん（合志組浄専寺門徒）
▽片島利榮子さん（同）
▽阿蘇組浄林寺門徒1人